

## 子育て支援に関するニーズ調査 調査結果報告書（抜粋版）

- ◆ 緊急時もしくは用事の際、子どもを預けられる親族等が「誰もいない」という方が就学前児童、小学生ともに2割を超えており、前回調査と比べて増加していることから、親族からの子育て支援を受けにくい子育て世帯が増加していることがうかがえます。【P 2】
- ◆ 子育て（教育）を「父母ともに」行っている世帯は、就学前児童では半数を超え、前回調査から増加しています。【P 2】  
また、父親の育児休業取得状況について「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合は2割程度と、前回調査から大幅に増加しています。これらのことから、男性の子育てへの参加が前回調査時に比べて増加していると考えられます。男性の子育て参加への理解・促進に向けて、今後も継続的に取組を進める必要があります。【P 4】
- ◆ 仕事と子育てへの両立支援として、就学前児童、小学生ともに「児童育成クラブや保育所（園）、認定こども園等の整備」「子どもや自分が病気やケガをした時に、面倒をみってくれる人や保育サービスがあること」へのニーズが高くなっています。【P 5】
- ◆ 同年代の子どもを持つ親同士の付き合いについて、「同年齢の子どもの親との付き合いはあまりない」の割合が、就学前児童、小学生ともに前回調査から増加しています。【P 11】
- ◆ 子育てに対して楽しいと感じている方が小学生で6割後半、就学前児童で7割程度となっている一方で、子育てに不安や負担を感じている方が半数以上いることから、子育て世帯の不安や負担を軽減する取組を継続していくことが必要と考えられます。【P 12】
- ◆ 草津市は子育てしやすい市だと思う方の割合は、「そう思う」、「どちらかというと思う」を合わせて就学前児童、小学生ともに7割以上であり、前回調査から増加しています。【P 14】
- ◆ 子育てに関する取組で、充実してほしい事業について、就学前児童では「幼稚園や保育所（園）、認定こども園等にかかる費用の軽減」、「子どもの遊び場」、「公園や歩道の整備」が高い割合でした。【P 17】  
小学生では「子どもの遊び場」、「公園や歩道の整備」が最も高くなっています。また、就学前児童、小学生ともに「子どもの遊び場」が2番目に高くなっています。【P 18】

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、令和7年度から令和11年度までを計画期間とする「草津市こども計画」策定の基礎資料とするため、市民の子育てニーズや考え方、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の量の見込みに資することを目的として実施したものです。

### 2. 調査概要

- 調査地域：草津市全域
- 調査期間：令和6年3月12日（火）～令和6年3月27日（水）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収及びWeb調査

	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童のいる世帯	2,000件	809件	40.5%
小学生のいる世帯	1,000件	415件	41.5%

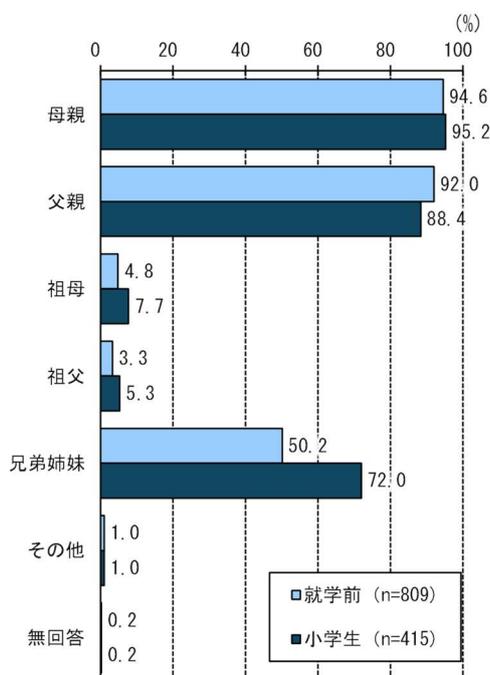
※グラフ上では、就学前児童調査を「就学前」、小学生児童調査を「小学生」と表記しています。

## Ⅱ. 調査結果（抜粋）

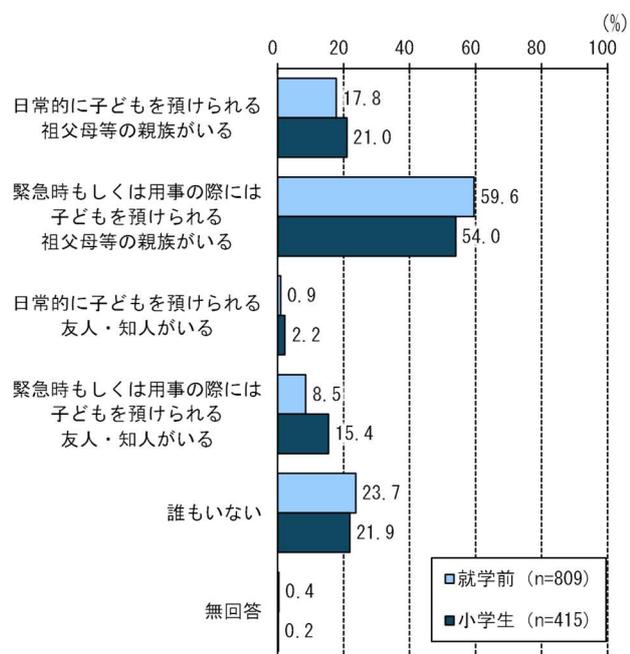
### 1. 家庭の状況について

- 子どもと家族の同居の状況をみると、就学前児童、小学生ともに「母親」、「父親」が9割程度、「祖母」、「祖父」と同居している人は約1割以下となっています。
- 日頃、子どもを預けられる人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が最も高く、就学前児童では59.6%、小学生では54.0%となっています。一方で、「誰もいない」は就学前児童、小学生ともに2割を超えており、前回調査（就学前児童：17.4%、小学生：15.9%）と比べて増加しています。
- 子育て（教育）を主に行っている人についてみると、就学前児童では「父母ともに」が56.5%と半数を超え、前回調査（43.2%）と比べて13.3ポイント増加しています。小学生では「父母ともに」「主に母親」がほぼ同水準となっています。

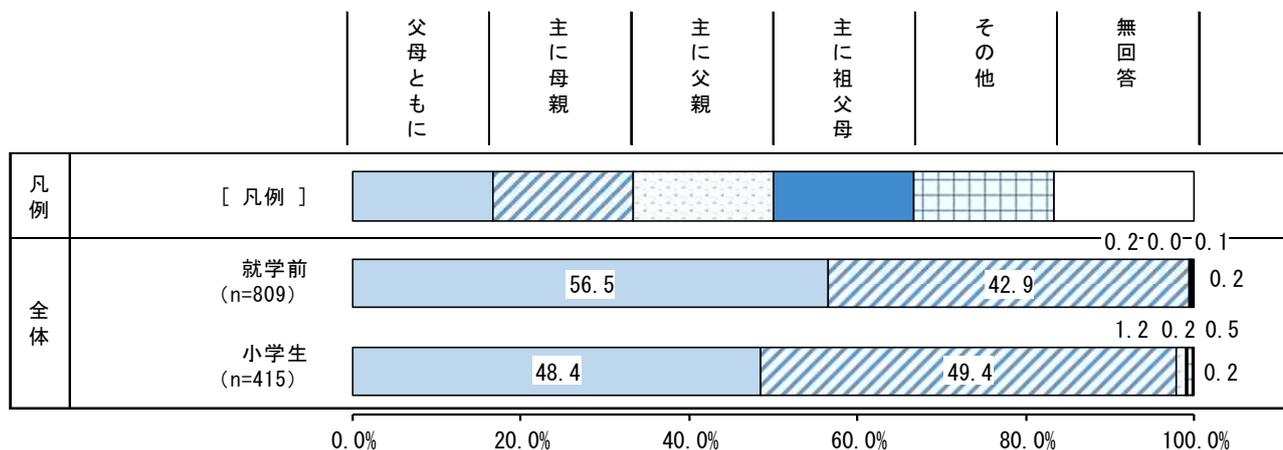
■子どもと家族の同居の状況〈複数回答〉



■日頃、子どもを預けられる人の有無〈複数回答〉



■子育て（教育）を主に行っている人〈単数回答〉

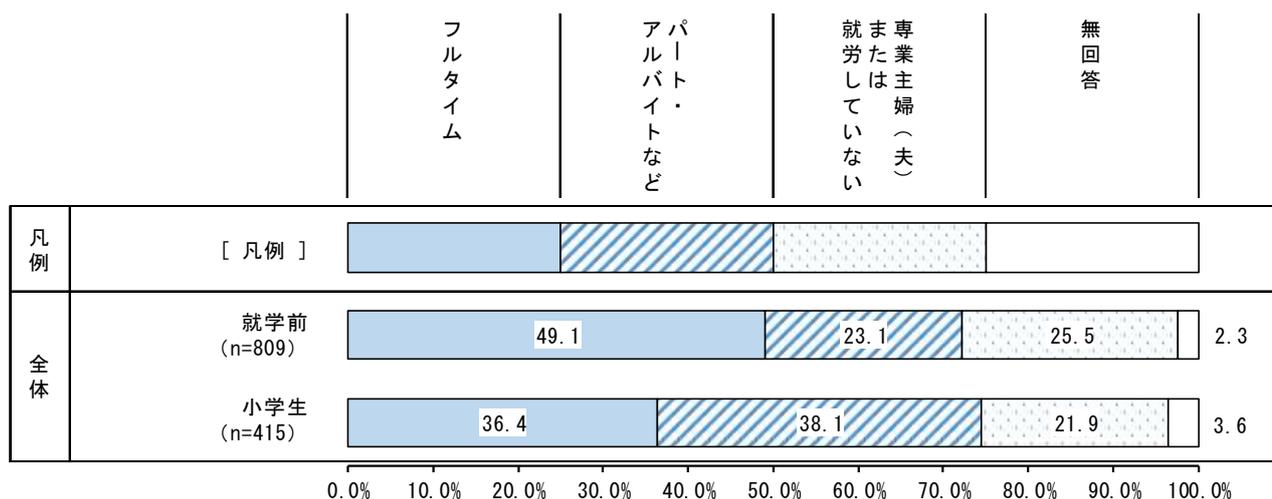


## 2. 保護者の就労状況と子育てと仕事の両立について

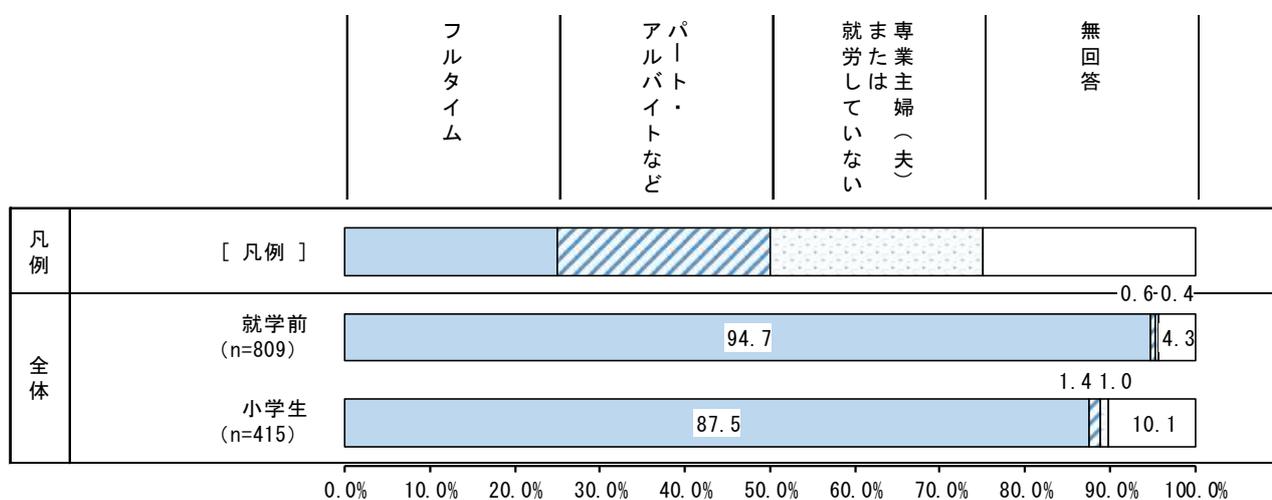
- 保護者の現在の就労状況をみると、母親については、就学前児童、小学生ともに『就労している』（「フルタイム」と「パートタイム」の計）が7割を超えています。「専業主婦（夫）または就労していない」は就学前児童で25.5%、小学生で21.9%となっています。父親については、「フルタイム」の割合が就学前児童、小学生ともに9割程度となっています。

### ■保護者の現在の就労状況〈単数回答〉

#### 【母親】

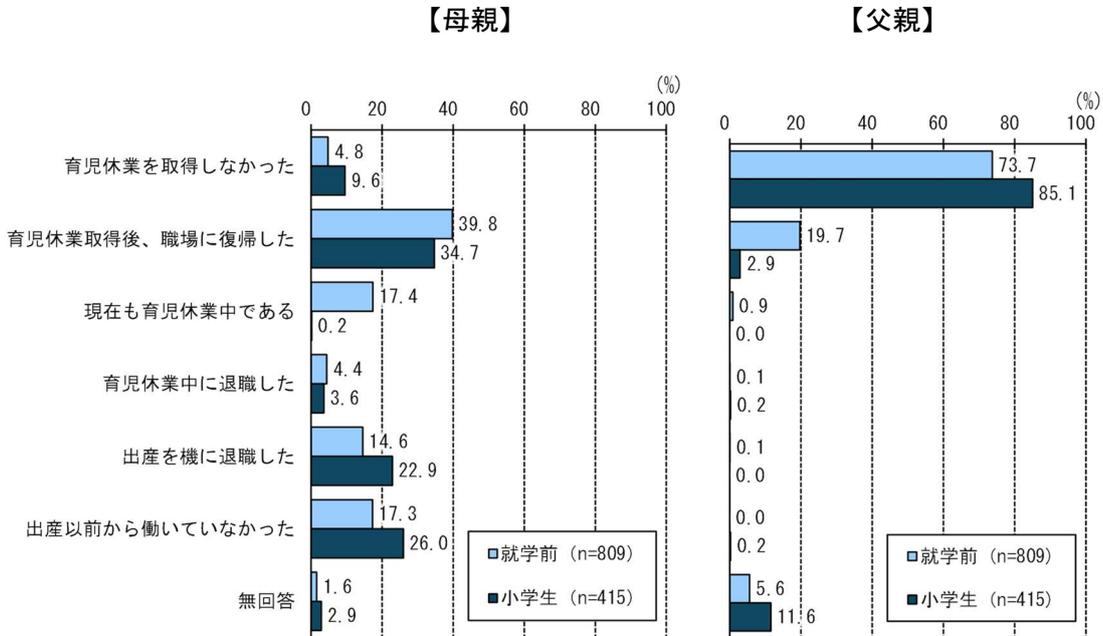


#### 【父親】



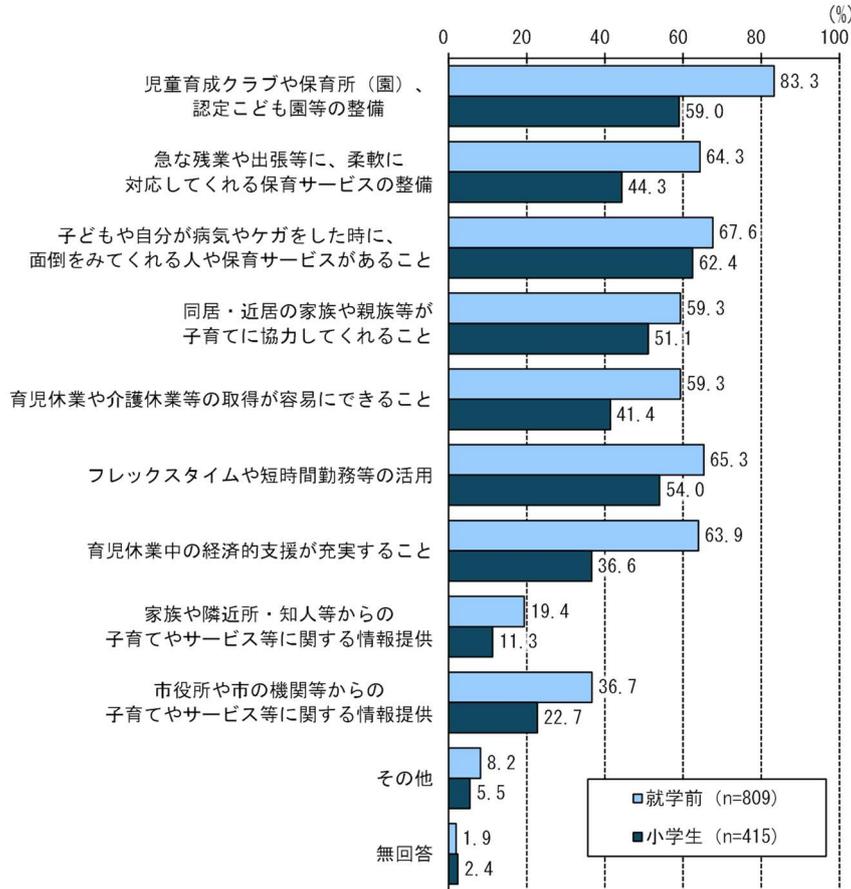
- 育児休業の取得状況をみると、母親については、就学前児童、小学生ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が3割を超え、最も高くなっています。父親については、就学前児童、小学生ともに「育児休業を取得しなかった」が7割以上と最も高く、次いで「育児休業取得後、職場に復帰した」となっています。就学前児童では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が前回調査（1.8%）と比べて17.9ポイント増加しています。

■ 育児休業の取得状況〈複数回答〉



- 仕事と子育てを両立する上で必要なことについてみると、就学前児童、小学生ともに「児童育成クラブや保育所（園）、認定こども園等の整備」「子どもや自分が病気やケガをした時に、面倒をみてくれる人や保育サービスがあること」が上位2位となっています。

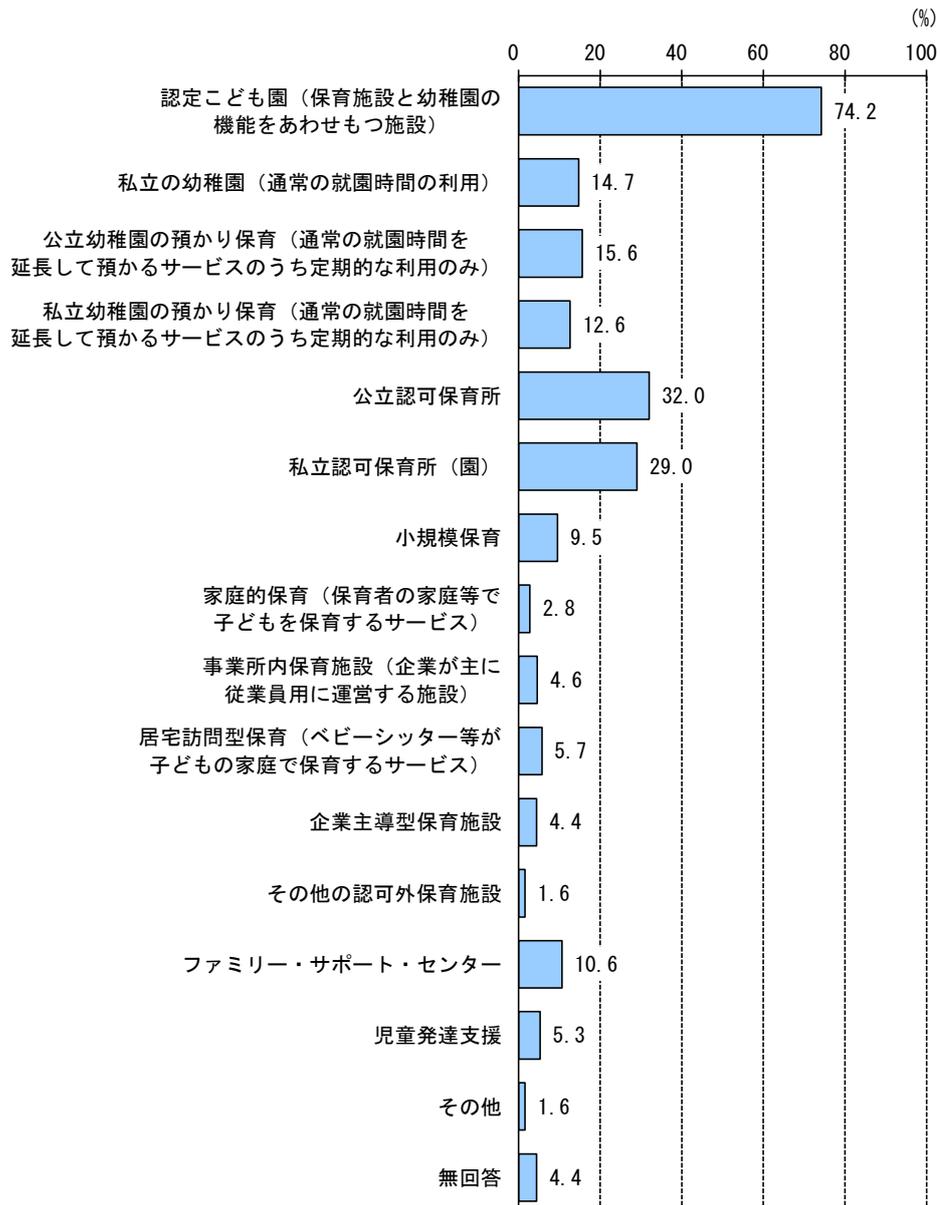
■仕事と子育てを両立する上で必要なこと〈複数回答〉



### 3. 平日の定期的な認定こども園、幼稚園及び保育所（園）等の利用希望について （就学前児童のみ）

- 幼児教育・保育の無償化の内容を踏まえて、現在の利用の有無に関わらず、今後利用したい事業についてみると、「認定こども園」が74.2%、「公立認可保育所」「私立認可保育所（園）」が3割程度となっています。

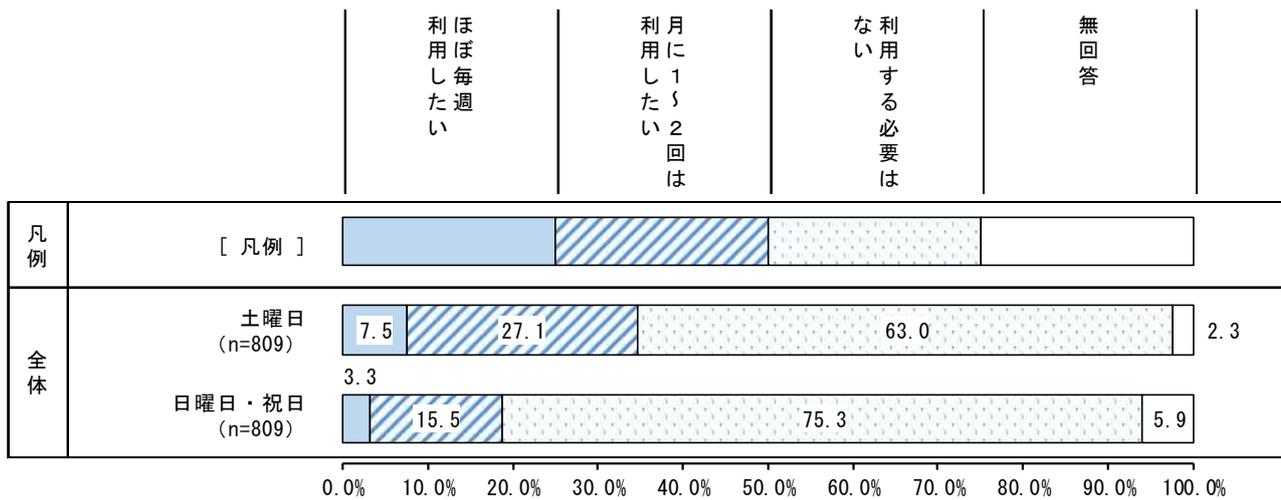
#### ■幼児教育・保育の無償化の内容を踏まえて、現在の利用の有無に関わらず、今後利用したい事業 〈複数回答〉



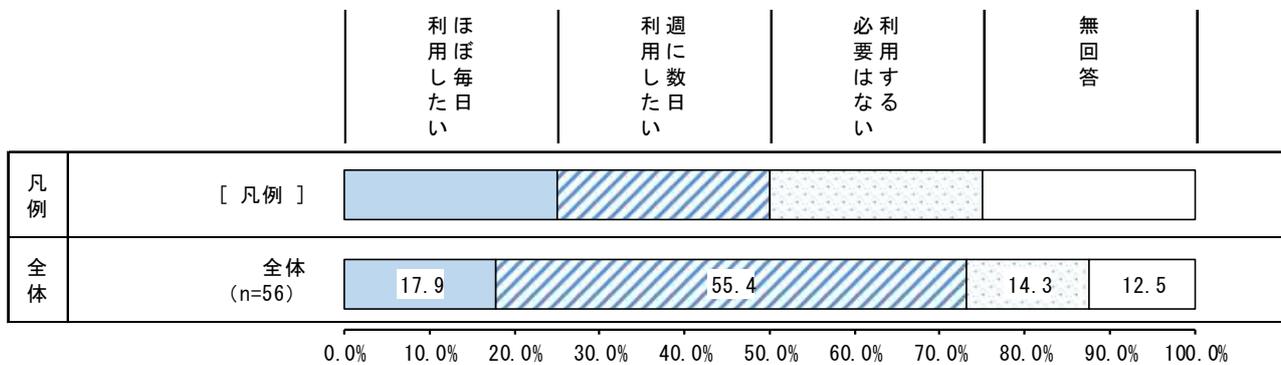
#### 4. 土曜日・休日や長期休暇期間中の定期的な認定こども園、幼稚園及び保育所（園）等利用希望について（就学前児童のみ）

- 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の計）が土曜日で34.6%、日曜日・祝日で18.8%となっています。幼稚園を利用している人の場合、夏休み・冬休み等長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は『利用したい』が7割を超えています。

##### ■土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉



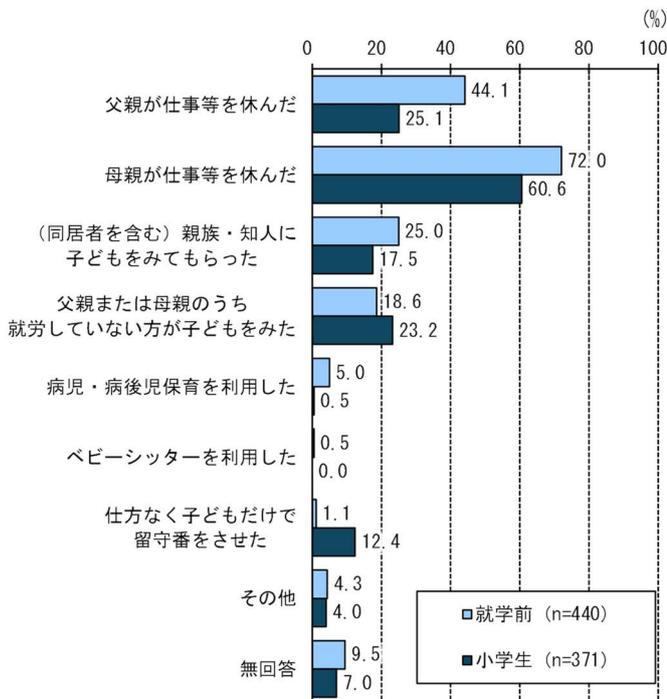
##### ■幼稚園を利用している人の夏休み・冬休み等長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉



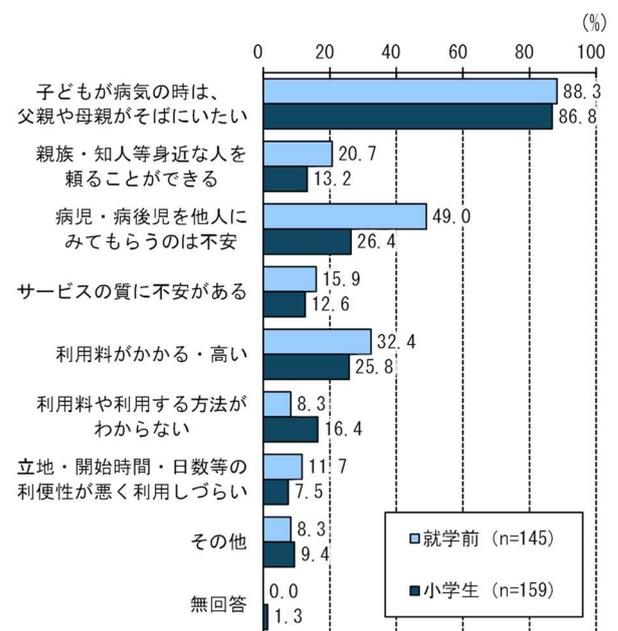
## 5. 病気の際の対応について

- この1年間に、病気やケガのため教育・保育サービスが利用できない、または学校を休んだ場合の主な対応方法として、「母親が仕事等を休んだ」は就学前児童、小学生ともに6割以上と高くなっています。「病児・病後児保育を利用した」は就学前で5.0%、小学生で0.5%と低い結果となっています。また、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は就学前児童で1.1%（5件）、小学生で12.4%（低学年11件、高学年34件）となっています。
- サービス等を利用したいと思わない理由についてみると、「子どもが病気の時は、父親や母親がそばにいたい」が就学前児童、小学生ともに8割以上と最も高くなっています。次いで、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が就学前児童で49.0%、小学生で26.4%、「利用料がかかる・高い」が就学前児童で32.4%、小学生で25.8%となっています。

■ 休んだ場合の主な対応方法  
〈複数回答〉



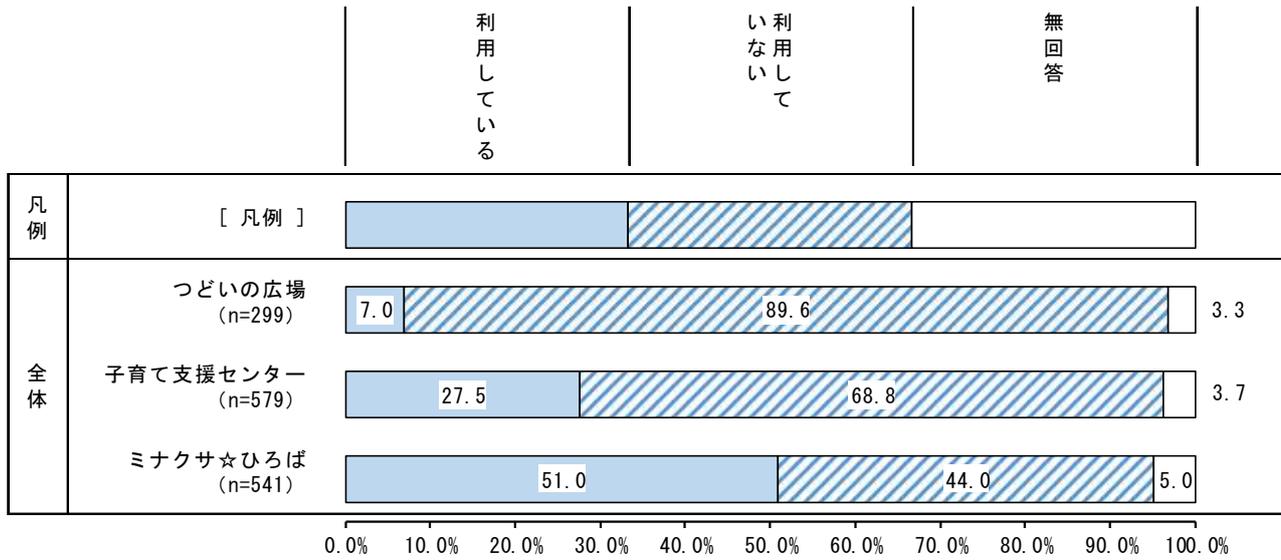
■ サービス等を利用したいと思わない理由  
〈複数回答〉



## 6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について（就学前児童のみ）

- 平日、幼稚園や保育所（園）等の定期的な教育・保育サービスを利用していない人の地域の子育て支援事業の利用状況についてみると、つどいの広場では 7.0%、子育て支援センターでは 27.5%、ミナクサ☆ひろばでは 51.0%の人が利用しています。前回調査の利用割合（つどいの広場：26.2%、子育て支援センター：37.6%、ミナクサ☆ひろば：50.0%）と比べると、つどいの広場、子育て支援センターの利用割合が低くなっています。

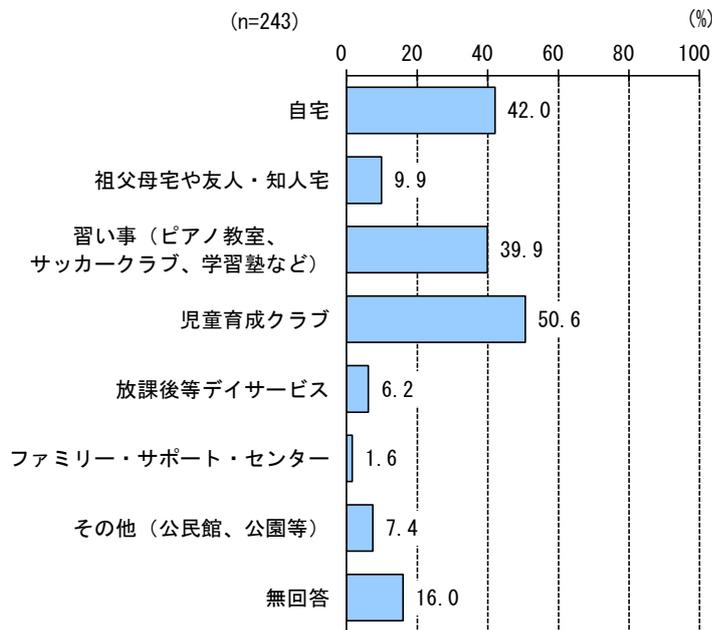
### ■定期的な教育・保育サービスを利用していない人の地域の子育て支援事業の利用状況〈単数回答〉



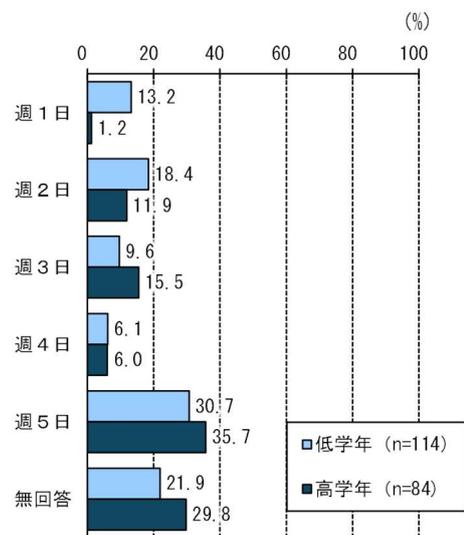
## 7. 放課後の過ごし方について

- 就学前児童が小学校入学後に希望する放課後の過ごし方についてみると、「自宅」「習い事」「児童育成クラブ」がそれぞれ4割から5割程度と高くなっています。「児童育成クラブ」を利用したい人の週あたり利用希望日数は、低学年、高学年ともに「週5日」が3割を超え、最も高くなっています。
- 小学生の平日の児童育成クラブの利用希望についてみると、「利用したい」は32.3%となっています。利用を希望する学年をみてみると、希望者の5割程度は1～4年生まで、3割後半から4割程度は5年生または6年生までを希望しています。

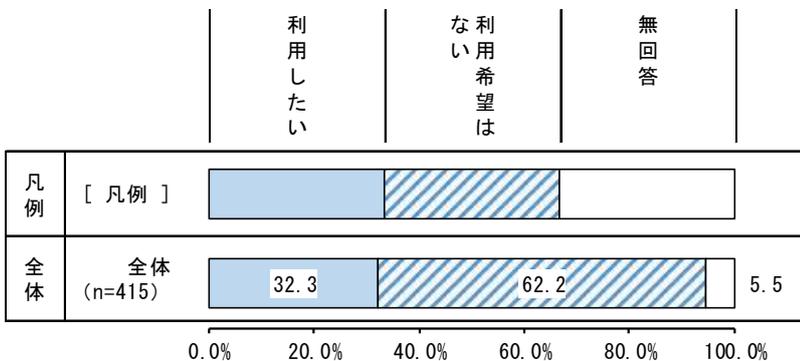
■就学前児童が小学校入学後に希望する放課後の過ごし方〈複数回答〉



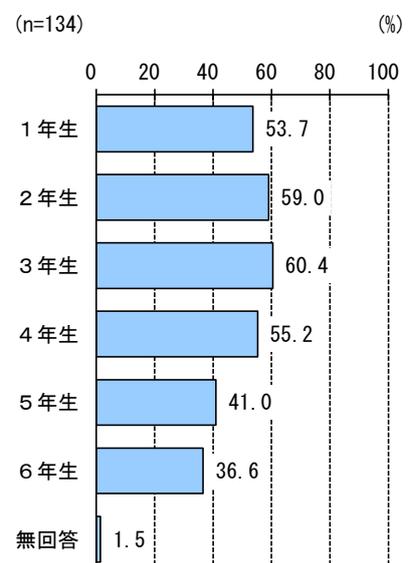
■児童育成クラブの週あたり利用希望日数〈数量回答〉



■小学生の平日の児童育成クラブの利用希望〈単数回答〉



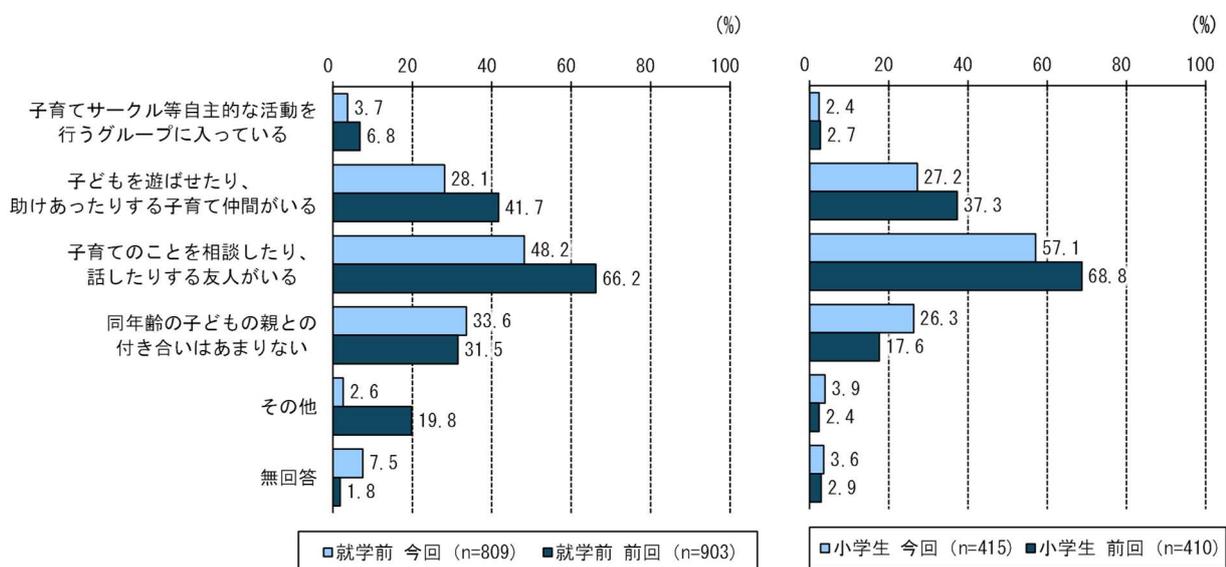
■小学生の平日の児童育成クラブの利用を希望する学年〈複数回答〉



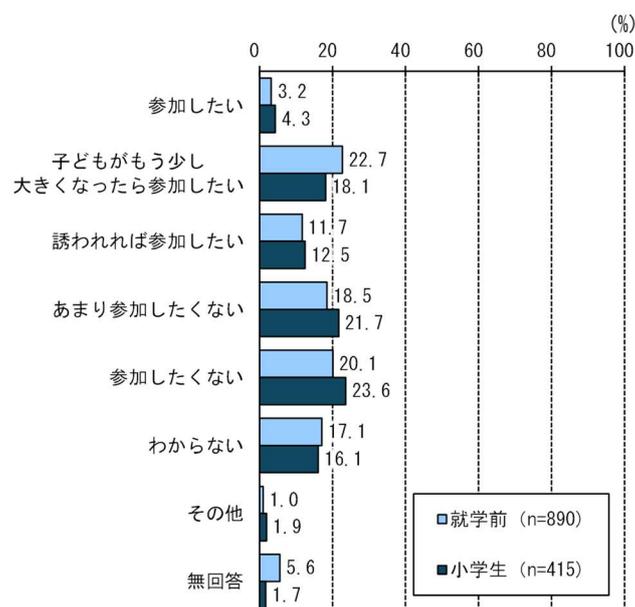
## 8. 親同士のつながりについて

- 同年代の子どもを持つ親同士の付き合いについては、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が就学前児童で48.2%、小学生児童で57.1%と最も高くなっています。前回調査と比べると、「同年齢の子どもの親との付き合いはあまりない」が就学前児童、小学生ともに増加しています。
- 子育ての経験を生かせる場や機会があれば、ボランティアとして参加したいかについては、「参加したい」は就学前児童で3.2%、小学生で4.3%にとどまっていますが、「子どもがもう少し大きくなったら参加したい」が就学前児童で22.7%、小学生で18.1%、「誘われれば参加したい」が就学前児童、小学生ともに1割程度と、地域の子育て支援の担い手となる可能性のある人が一定数います。

### ■ 同年代の子どもを持つ親同士の付き合い〈複数回答〉



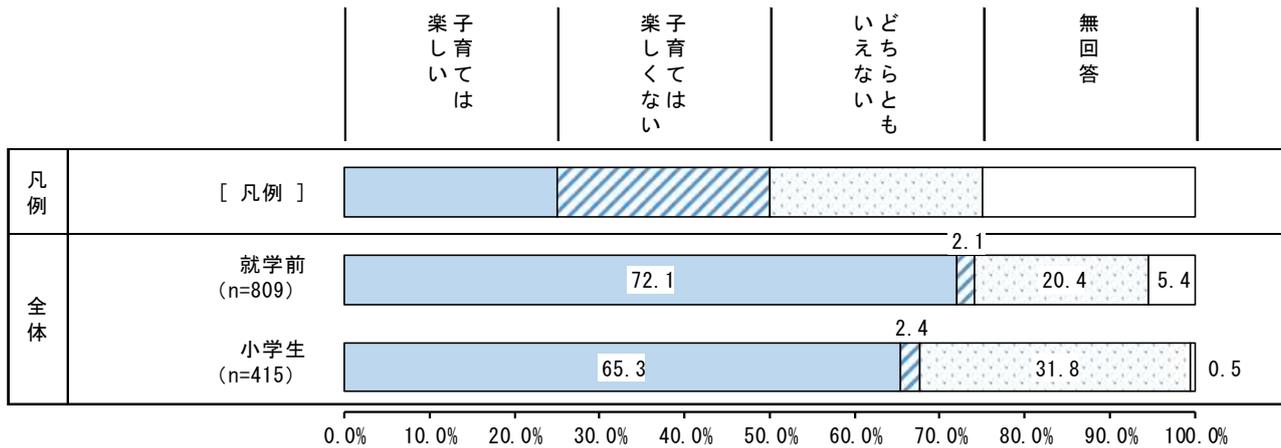
### ■ 子育ての経験を生かせる場や機会があれば、ボランティアとして参加したいか〈単数回答〉



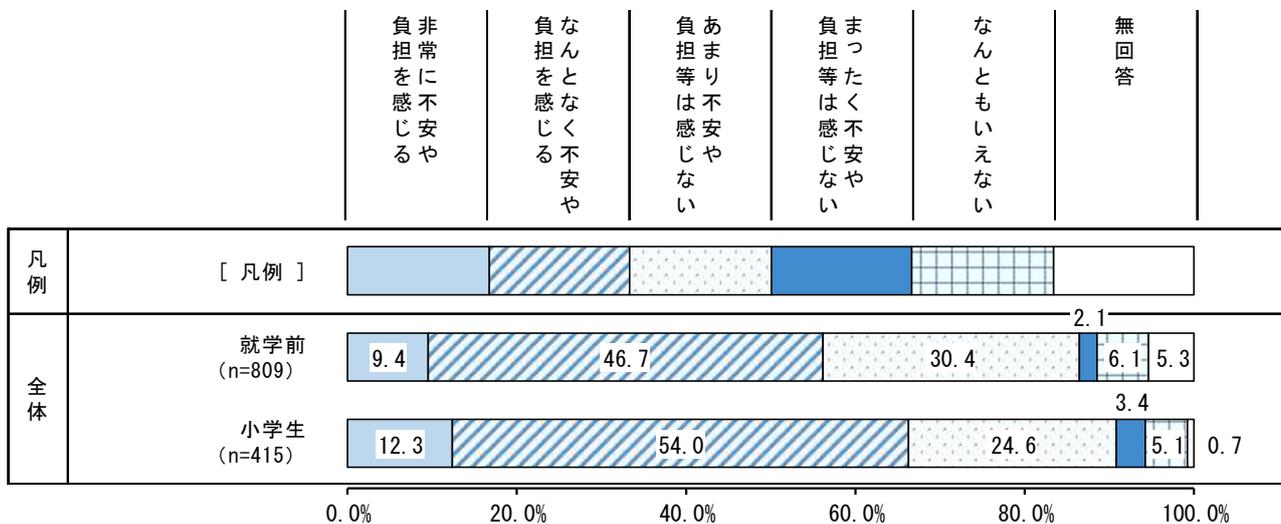
## 9. 子育ての不安や悩みについて

- 子育てを楽しんでいるかについては、就学前児童、小学生ともに「子育ては楽しい」が6割後半から7割程度となっている一方で、「子育ては楽しくない」が就学前児童で2.1%（17件）、小学生で2.4%（10件）となっています。子育てに不安や負担を感じるかについては、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の計）が就学前児童、小学生ともに半数以上となっています。

### ■子育てを楽しんでいるか〈単数回答〉



### ■子育てに不安や負担を感じるか〈単数回答〉



- 子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることについて年齢別にみると、就学前児童では、すべての年齢で「子どもの病気や発育・発達に関すること」が最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」となっています。小学生では、1～5年生は「子どもの病気や発育・発達に関すること」が最も高くなっていますが、2年生、4年生、6年生は「子どもの友だち付き合いに関すること」、4年生は「子どもを叱りすぎているような気がする」も高くなっています。

■子育てに関して、日頃悩んでいることや気になること（上位5位）（就学前児童）〈単数回答〉

単位：%

		母数 (n)	子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になること						
			関発子 す育ど るも こ発の 達病 に気 や	栄子 養ど にも 関の す食 事 や と	育子 児ど にも 自の 信接 が持 し方 持 て な い	時子 間ど も と 接 す る	付子 きど 合の いに 友 だ ち 関 だ す ち る こ と	十や仕 分り事 でたや できい な自分 いとの が	よ叱子 うりど なすも がぎを がす る
全体		809	45.2	40.7	28.9	19.2	18.8	31.0	25.7
子 ど も の 年 齢	0歳児	90	△ 58.9	47.8	26.7	11.1	16.7	37.8	▼ 11.1
	1歳児	103	52.4	50.5	33.0	13.6	14.6	24.3	26.2
	2歳児	124	48.4	46.0	31.5	22.6	16.9	30.6	18.5
	3歳児（年少）	123	41.5	40.7	34.1	17.1	18.7	35.8	23.6
	4歳児（年中）	123	39.8	39.0	30.9	22.8	15.4	27.6	33.3
	5歳児（年長）	243	40.3	32.1	23.0	22.2	24.3	30.9	31.7

■子育てに関して、日頃悩んでいることや気になること（上位5位）（小学生）〈単数回答〉

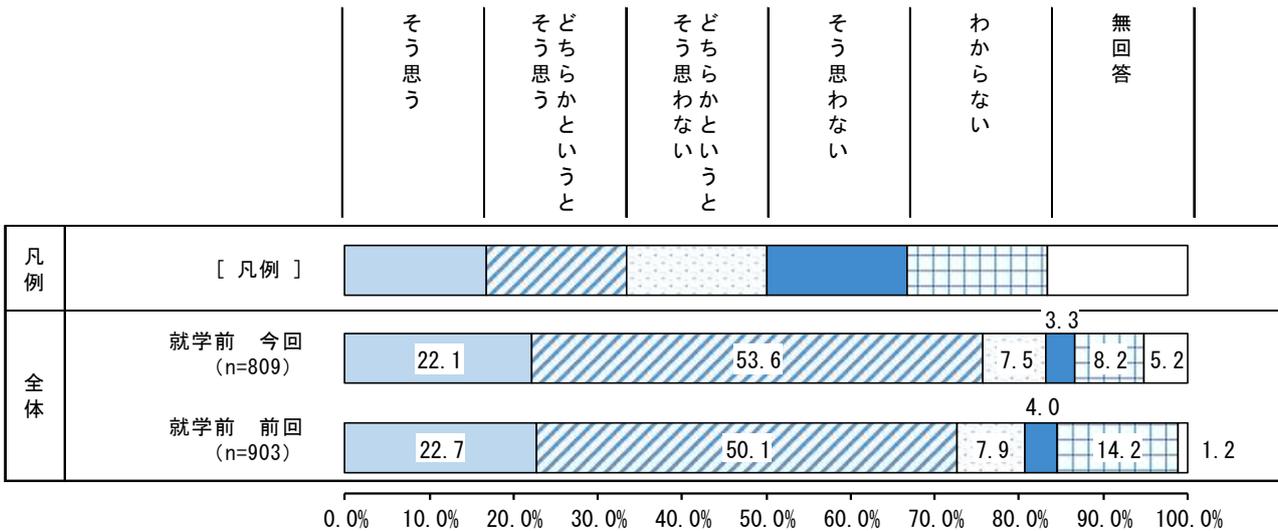
単位：%

		母数 (n)	子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になること										
			発子 育ど も の 病 気 や 発 達 に 関 す る こ と	栄子 養ど にも 関の す食 事 や と	育子 児ど にも 自の 信接 が持 し方 持 て な い	時子 間ど も と 接 す る	付子 きど 合の いに 友 だ ち 関 だ す ち る こ と	遊近 び所 に 友 だ ち が も の い ない	十や仕 分り事 でたや できい な自分 いとの が	や関配 し偶 、協者 力が意 が見や が少族 ない合 いわの こい子 育て に	よ叱子 うりど なすも がぎを がす る	ない子 じど も が い て い め た り 、 な い か	
全体		415	36.1	28.4	21.2	25.3	32.5	17.6	21.4	17.3	32.3	27.5	
子 ど も の 年 齢	1年生	70	44.3	37.1	21.4	32.9	37.1	△ 28.6	24.3	17.1	34.3	32.9	
	2年生	81	38.3	27.2	23.5	19.8	38.3	21.0	19.8	16.0	34.6	34.6	
	3年生	55	32.7	27.3	16.4	18.2	29.1	21.8	25.5	12.7	27.3	29.1	
	4年生	73	35.6	24.7	21.9	21.9	35.6	12.3	21.9	19.2	35.6	26.0	
	5年生	71	33.8	23.9	23.9	32.4	▼ 15.5	12.7	15.5	25.4	28.2	18.3	
	6年生	64	31.3	31.3	18.8	26.6	39.1	9.4	23.4	12.5	32.8	23.4	

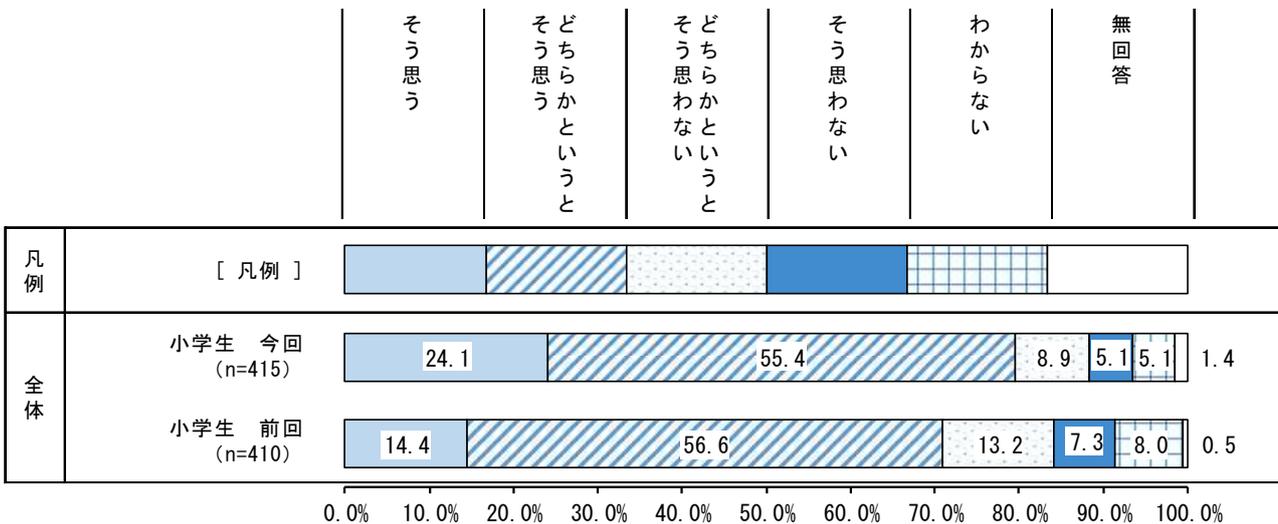
## 10. 市での子育てについて

- 草津市は子育てをしやすい市だと思うかについて、子育てしやすい市だと『思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」の計）は、就学前児童、小学生ともに7割以上となっています。前回調査と比べると、就学前児童で2.9ポイント、小学生で8.5ポイント増加しています。一方で、子育てしやすい市だと『思わない』（「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の計）は就学前児童で10.8%、小学生で14.0%となっており、子育て環境の充実に向けて、さらに継続的に取り組んでいくことが求められます。

### ■草津市は子育てをしやすい市だと思うか（就学前児童）〈単数回答〉



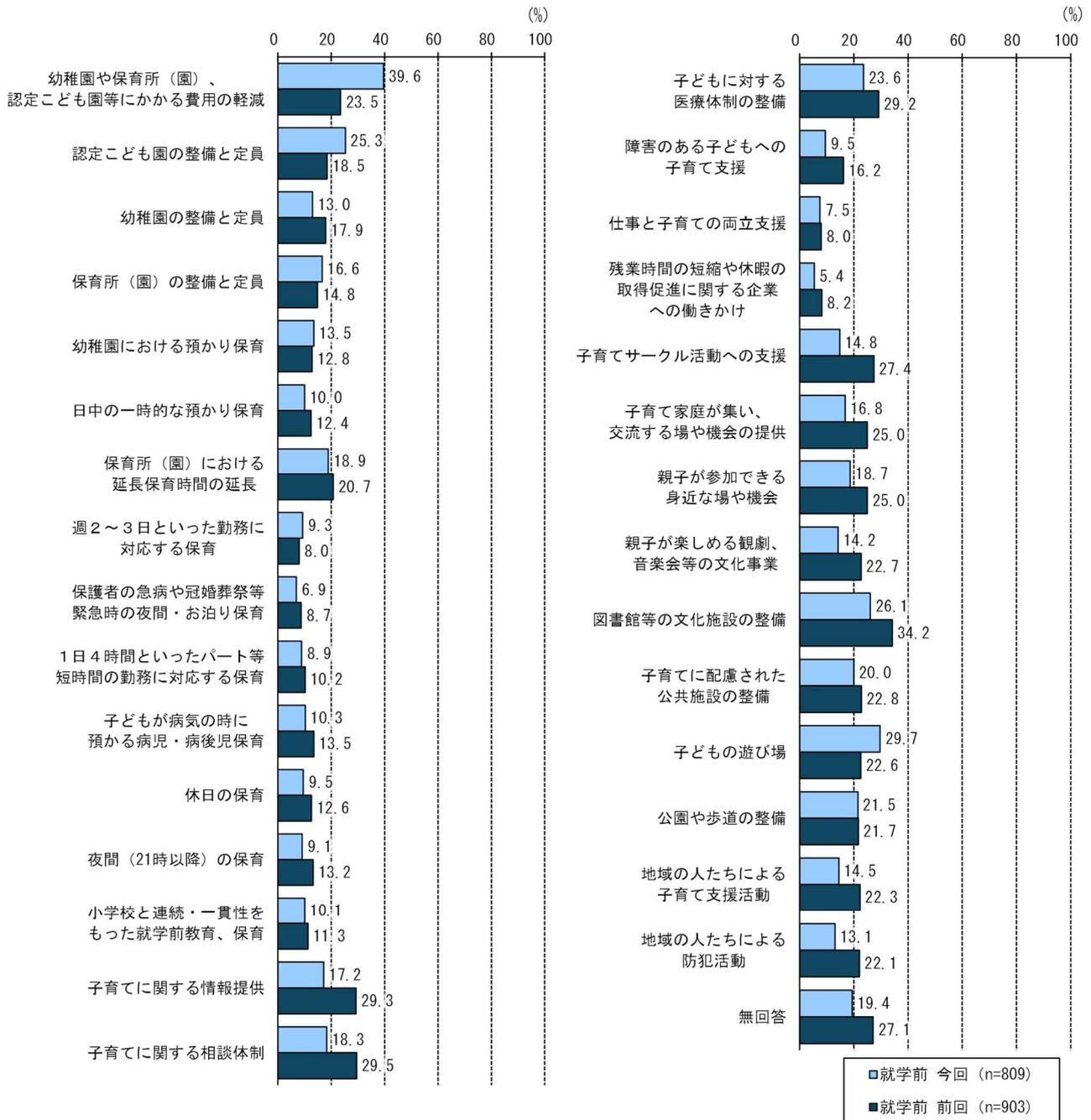
### ■草津市は子育てをしやすい市だと思うか（小学生）〈単数回答〉



## 11. 市の子育てに関する取組について

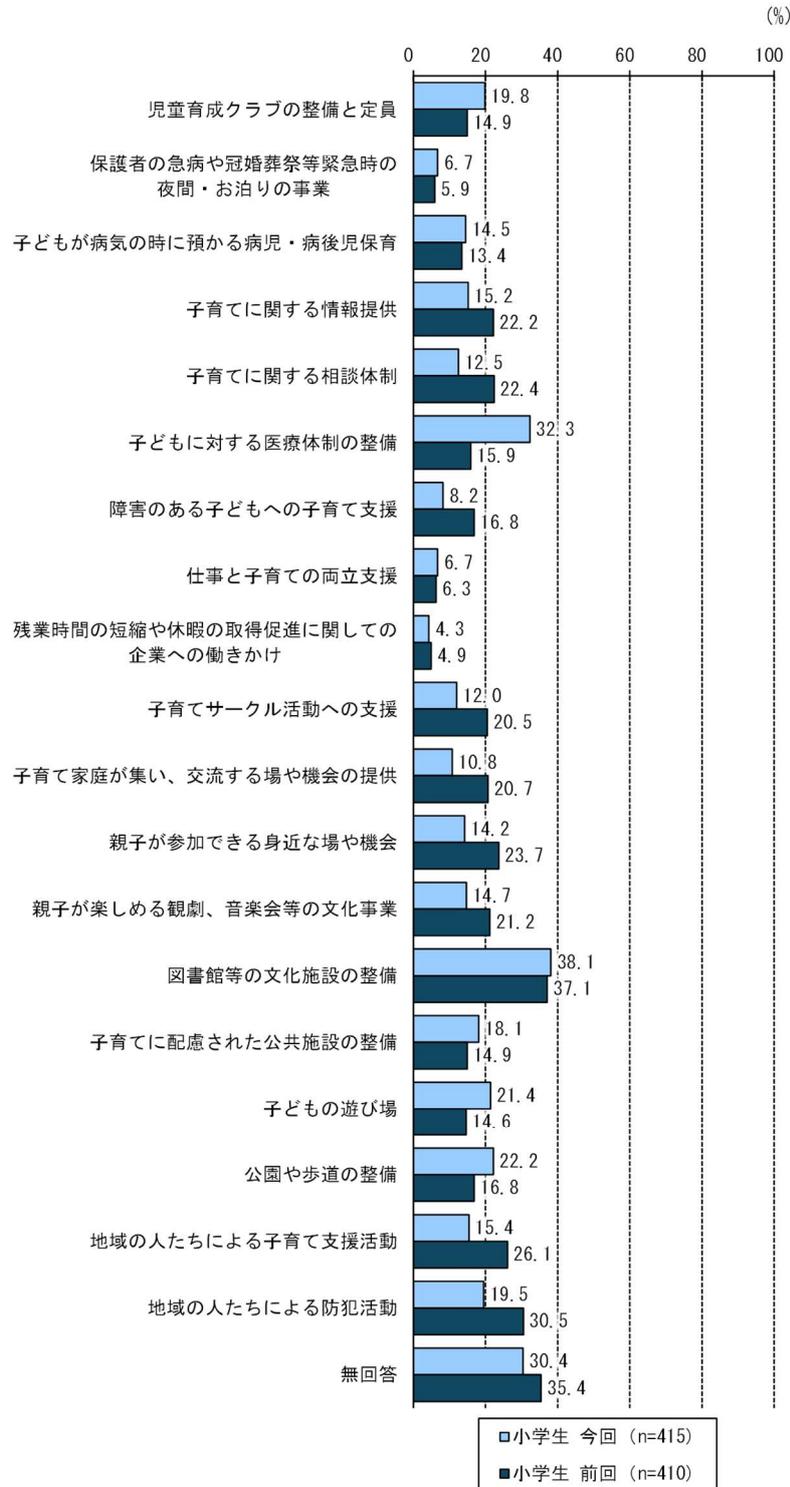
- 草津市の子育てに関する取組で、評価できる事業について、就学前児童では、「幼稚園や保育所（園）、認定こども園にかかる費用の軽減」が4割程度と最も高く、次いで「子どもの遊び場」「図書館等の文化施設の整備」となっています。前回調査と比べると、「幼稚園や保育所（園）、認定こども園にかかる費用の軽減」「認定こども園の整備と定員」「子どもの遊び場」で5ポイント以上増加しています。

### ■草津市の子育てに関する取組で、評価できる事業（就学前児童）〈複数回答〉



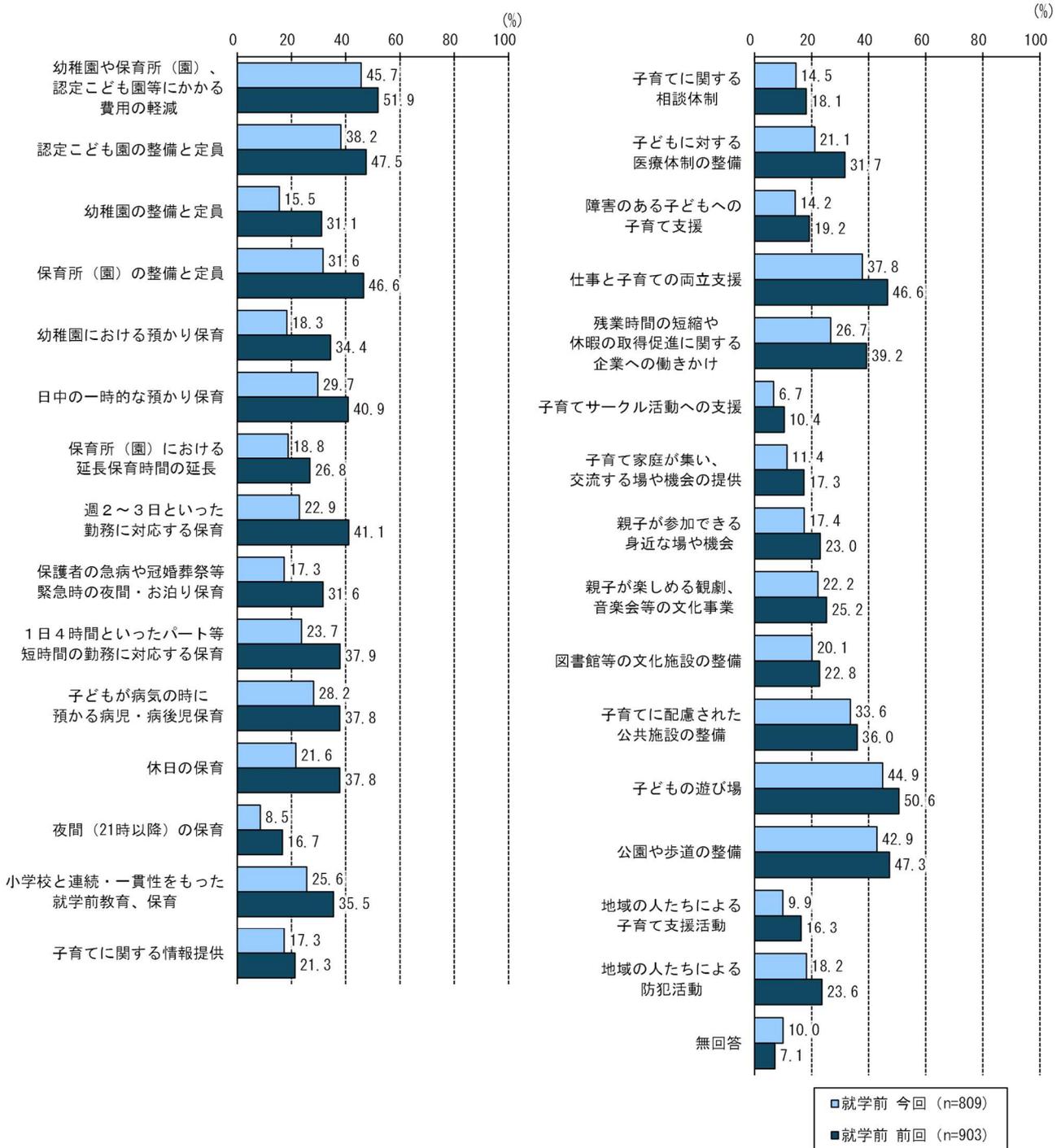
- 草津市の子育てに関する取組で、評価できる事業について、小学生では、「図書館等の文化施設の整備」が3割後半と最も高く、次いで「子どもに対する医療体制の整備」「公園や歩道の整備」となっています。多くの事業で前回調査から割合が増加しています。

■草津市の子育てに関する取組で、評価できる事業（小学生）〈複数回答〉



- 草津市の子育てに関する取組で、充実してほしい事業について、就学前児童では、「幼稚園や保育所（園）、認定こども園にかかる費用の軽減」が4割以上と最も高く、次いで「子どもの遊び場」「公園や歩道の整備」となっています。

■草津市の子育てに関する取組で、充実してほしい事業（就学前児童）〈複数回答〉



- 草津市の子育てに関する取組で、充実してほしい事業について、小学生では、「公園や歩道の整備」が5割程度と最も高く、次いで「子どもの遊び場」「仕事と子育ての両立支援」となっています。前回調査と比べると、「子どもに対する医療体制の整備」が20.3ポイント減少しています。

■草津市の子育てに関する取組で、充実してほしい事業（小学生）〈複数回答〉

